

ナガオカ [6239・100 株]

6月29日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年6月10日(水)

更新: 8時32分

株式会社フィスコ

プラント用機器のジャスダック小型案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★
想定仮条件レンジ	1500円～1550円
予想PER	14.6倍(連)～15.1倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	1000円～2000円
予想PER	9.7倍(連)～19.4倍(連)

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	6月11日
ブックビルディング期間	6月12日～6月18日
公開価格決定	6月19日
申込期間	6月22日～6月25日
払込日	6月26日
上場日	6月29日

類似会社 3社

平均PER	16.9倍	→	1,739円
日揮<1963>	15.1倍(連)	→	1,553円
東洋エンジニア<6330>	19.6倍(連)	→	2,016円
メタウォーター<9551>	16.0倍(連)	→	1,646円

(PERは6月9日現在の会社側予想ベース)

石油精製・石油化学プラント用の内部装置、取水用スクリーン、水処理装置の製造販売、高速海底浸透取水システム装置の研究開発を手掛ける。主力製品のスクリーン・インターナルは石油精製及び石油化学等のプラントの心臓部である「触媒反応、吸着、抽出、分離」等の工程に使用されており、同工程を構成する中核機器の1つ。

小型のジャスダック上場案件だが、人気テーマに乗った案件でなければ高初値になりにくい。同社については、世界のプラント市場が原油価格下落で需要減が避けられない状況となっていることから、高成長案件との評価を受けにくいだろう。

公開規模については7億円程度となる見込みで、比較的小型に位置付けられる。ただ、ベンチャーキャピタル株主の保有比率が35.2%と高いことが、将来的な需給面の懸念材料として意識される可能性がある。

銘柄紹介

ナガオカ [6239・100 株]

6月29日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年6月10日(水)

更新: 8時32分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/6	3,104	—	38	—	26	—
2012/6	3,084	-0.6%	28	-26.0%	8	-70.2%
2013/6	5,043	63.5%	498	1633.6%	278	3369.2%
2014/6	6,285	24.6%	431	-13.5%	255	-8.2%
2015/6 予	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/6	4,820	—	329	—	186	—
2014/6	6,357	31.9%	243	-26.1%	152	-17.9%
2015/6 予	5,812	-8.6%	379	55.5%	211	38.0%
2015/3 3Q	3,294	—	139	—	72	—
予想 EPS/配当	単独: -円 連結: 102.88 円(上場時発行済株式数で試算) / -円					

業績コメント

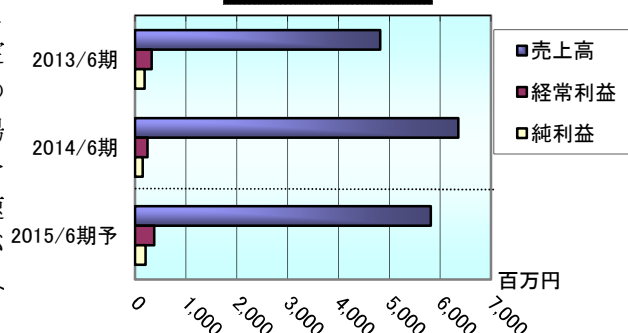
2015年6月期の業績は、売上高が前期比8.6%減の58.1億円、経常利益が同55.5%増の3.7億円と減収増益の見通しとなっている。

足元では、グループ経営の推進、経営基盤の強化を基本方針とし、海外製造子会社2社を含む3拠点での生産体制を強化するとともに、中国や東南アジア地域を中心に拡販に努めている。エネルギー関連事業では、新規プラント建設や既存プラントの設備更新に係るプラント・オーナーの投資判断が原油安の影響により慎重になった。これにより、一部のプロジェクトで受注予定時期に遅れが生じ、中にはプロジェクトの中止や失注が若干あったものの、成長市場である中国を中心としたアジアの需要を取り込んでいる。その他事業では、超高速無薬注生物処理装置「ケミレス」の受注が増加。国内では、水道事業体の浄水設備への

の導入や、民間向けに薬品工場やリネン業界等からの受注があった。海外では、水不足等で旺盛な需要がある中国やマレーシアなどの浄水施設への導入が実現した。

なお、通期計画に対する第3四半期末時点における進捗率は、売上高32.9億円で56.6%、経常利益1.3億円で49.8%となっている。

連結業績動向



銘柄紹介

ナガオカ [6239・100 株]

6月29日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年6月10日(水)

更新: 8時32分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要	
所在地	大阪府貝塚市二色北町
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 三村等(昭和24年1月22日生)
設立	平成16年11月1日
資本金	5億2975万円(平成27年5月27日現在)
従業員数	新規上場会社156人 連結会社232人 (平成27年4月3日現在)
発行済株式数(上場時)	2,051,000株(予定)
公開株式数	公募300,000株 売出100,000株 (オーバーアロットメントによる売出50,000株)
想定公開規模	6.8億円~7.0億円(OA含む)
事業内容	石油精製・石油化学プラント用の内部装置、取水用スクリーン、水処理装置の製造販売、高速海底浸透取水システム装置の研究開発

売上高構成比率 (2014/6期実績)			
品目	金額		比率
エネルギー関連事業	5,065	百万円	79.7 %
取水関連事業	755	百万円	11.9 %
その他事業	536	百万円	8.4 %
合計	6,357	百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	東洋証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

ナガオカ [6239・100 株]

6月29日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年6月10日(水)

更新: 8時32分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位 10 位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	株式会社ハマダ	450,000 株	22.85 %
2	日立造船株式会社	300,000 株	15.23 %
3	JAIC-中小企業グローバル支援投資事業有限責任組合	230,000 株	11.68 %
4	ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社	100,000 株	5.08 %
5	ネオステラ1号投資事業有限責任組合	80,000 株	4.06 %
6	新生企業投資株式会社	74,800 株	3.80 %
7	りそなキャピタル2号投資事業組合	70,000 株	3.55 %
8	東拓工業株式會社	50,000 株	2.54 %
8	NIFSMBC-V2006S3投資事業有限責任組合	50,000 株	2.54 %
10	みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合	40,000 株	2.03 %
合計		1,444,800 株	73.36 %

その他情報

手取金の使途	過去に実施した中国子会社設立等に係る投資を目的とした金融機関からの借入金の返済のために充当し、また、運転資金として、成長事業と位置付けているその他事業の製品(ケミレスおよびハイシス) 拡販活動に伴う実証実験等の研究開発費用に充当する予定。	
関係会社	那賀水処理技術(瀋陽)有限公司(連結子会社)取水関連事業・その他事業 那賀日造設備(大連)有限公司(連結子会社)エネルギー関連事業 那賀(瀋陽)水務設備製造有限公司(連結子会社)取水関連事業 那賀欧科(北京)貿易有限公司(連結子会社)エネルギー関連事業 株式会社ハマダ(その他の関係会社)プラント建設工事、機械設備の製造等 日立造船株式会社(その他の関係会社)プラント建設、圧力容器製造等	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2013年10月24日
	割当先	新生企業投資株式会社
	発行価格	1,300円 ※株式分割を考慮済み

銘柄紹介

ナガオカ [6239・100 株]

6月29日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年6月10日(水)

更新: 8時32分

株式会社フィスコ

銘柄紹介

同社および子会社4社によりグループが構成されている。人間の生活に欠かすことのできない「エネルギー」や「水」を効率的に創る技術・製品ならびに地球にやさしい「環境」をもたらす技術で世界に貢献できる企業を目指している。

主な事業は、(1)エネルギー関連事業(スクリーン・インターナルの製造・販売)、(2)取水関連事業(取水用スクリーン等の製造・販売)および(3)その他事業(水処理装置等の製造・販売)である。各事業の内容は以下のとおり。

(1) エネルギー関連事業

スクリーン・インターナルの製造・販売を行っている。スクリーン・インターナルは、石油精製および石油化学等のプラントの心臓部である『触媒反応、吸着、抽出、分離』等の生成工程(プロセス)に使用されており、そのプロセスを構成する中核機器の1つである。同社員塚工場および中国製造子会社である那賀日造設備(大連)有限公司を製造拠点として、世界各地のプラント現場に製品を納入している。これまで65カ国で納入実績がある。中国市場では、今後の市場拡大を視野に入れて、中国販売子会社である那賀欧科(北京)貿易有限公司を設立し、営業展開を行っている。

(2) 取水関連事業

主に取水用スクリーン、および建築・土木分野の建設向け排水用スクリーンを製造・販売している。

同社員塚工場および中国製造子会社である那賀(瀋陽)水務設備製造有限公司を製造拠点として、主に国内市場向けに製品を納めている。中国市場では、今後の市場

拡大を視野に入れて、中国販売子会社である那賀水処理技術(瀋陽)有限公司を設立し、営業展開を行っている。

(3) その他事業

超高速無薬注生物処理装置「CHEMILES(ケミレス)」等の設計・製造・施工・販売・メンテナンスを行っている。同社員塚工場を製造拠点として、世界各地の上水場等の建設・改修市場で製品を納めており、これまでに世界で47箇所の納入実績がある。中国市場では、今後の市場拡大を視野に入れて、中国販売子会社である那賀水処理技術(瀋陽)有限公司を設立し、営業展開を行っている。

ナガオカ [6239・100 株]

6 月 29 日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015 年 6 月 10 日 (水)
更新 : 8 時 32 分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

今年のジャスダック上場案件の公開価格に対する初値上昇率は、エムケイシステム<3910> (3/17 上場) が+332.0%と高騰したものの、エスエルディー<3223> (3/19 上場) は+15.3%、シンデン・ハイテックス<3131> (3/25 上場) は+12.2%といった結果だった。いずれも公開規模 10 億円未満の小型案件だったが、人気テーマに乗った案件でなければ高初値になりにくい傾向。同社については、世界のプラント市場が原油価格下落で需要減が避けられない状況となっていることから、高成長案件との評価を受けにくいだろう。

エネルギー関連事業、取水関連事業及、ケミレスや海水淡水化などのその他事業を展開している。売上高の 79.7%を占めるエネルギー関連事業では、スクリーン・インターナルを製造・販売する。スクリーン・インターナルは石油精製及び石油化学等のプラントの心臓部である「触媒反応、吸着、抽出、分離」等の工程に使用されており、同工程を構成する中核機器の 1 つである。なお、2004 年に民事再生手続の申請を行い、日本アジア投資<8518>が運営する再生ファンドの支援を受けた。

業績面について、2015 年 6 月期は売上高が前期比 8.6%減の 58.1 億円、経常利益が同 55.5%増の 3.7 億円と減収増益の見通しとなっている。前期は増収減益となっており、業績はやや不安定との印象を与えるだろう。厳密な意味での類似企業はないが、想定仮条件水準の今期予想 PER は 15 倍前後と妥当な水準だろう。

公開規模については 7 億円程度となる

見込みで、比較的小型に位置付けられる。ただ、ベンチャーキャピタル株主の保有比率が 35.2%と高く、ロックアップの対象となっているものの将来的な需給面の懸念材料として意識される可能性がある。なお、同日上場の企業はないため、初値買い資金分散の懸念はない。

銘柄紹介

ナガオカ [6239・100 株]

6月29日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年6月10日(水)
更新: 8時32分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会